

第7章 スケジュール

都市の3Dデジタルマップの整備・運用に向け、計画段階の3カ年、初期整備期間と2025年度以降の更新スケジュールを示す。

表 7-1 スケジュール (2020年度～2030年度)

実施項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025～2030年度	
都市の3Dデジタルマップ化プロジェクト	仕様構築検討	ユースケースや技術動向に応じたフォローアップ (継続的にアジャイル)					
	パイロットマップ作成	モデルエリアの3Dデジタルマップ作成	都市再生緊急整備地域の3Dデジタルマップ作成	【23区】23区全域(LOD1)、都市開発諸制度拠点地区 (LOD2) を全域整備	【多摩部】都市計画区域内 (LOD1) を全域整備	【都内全域】データ更新・精緻化 (持続可能なスキームの構築)	
		仕様のアップデート	点群データ取得 (区部市街地全域)	【多摩部】市街地全域 (LOD1)、都市開発諸制度拠点地区 (LOD2) を全域整備	【島嶼部】全域 (LOD1) を整備		
		ユースケースの検証					
詳細工程 (案)	●仕様・ガイドライン 仕様書 (案) の策定 仕様書のブラッシュアップ 提供・利用ガイドライン策定	仕様書 (案) 策定	仕様の深度化検討等	改定 要件定義書・データ製品仕様書の改定	必要に応じて仕様の拡張・改定 (継続的にアジャイル)		
	●データ整備・更新 パイロットマップの作成 モデルエリアのデータ整備 データ整備エリアの拡大	パイロットマップ作成	モデルエリアのデータ整備 手法比較検討・積算	整備エリアの拡大検討・実施	整備エリアの拡大実施	官民連携によるデータ更新	
	●システム導入・運用 庁内用システムの試験導入 庁内用システムの本格導入 公開用システムの導入	要件定義作成	概略検討等 仕様の深度化検討等	設計 システム構築 ハードウェア調達	テスト 運用開始	適宜運用見直し (継続的にアジャイル) ※随時ライセンス拡大 ※公開用システムは、官民連携データプラットフォーム等の動向を踏まえ構築検討	
	●ユースケース検証 机上調査・パイロットマップ検証 モデルエリアでの検証 より広範なユースケースの検証	机上検証	モデルエリアでユースケース検証	エリアを拡大してユースケースを蓄積 実サービスとして実装	実サービスとして実施・拡大		
	●運用スキーム 運用スキーム案の検討 運用スキームの選定	運用スキーム案検討	運用スキームの選定	準備 他局と連携したシステム運用検討	運用見直し (継続的にアジャイル)		